

**P&G、東日本大震災の被災地域の緑化活動のため
約3万本の植樹に相当する寄付を決定！
～小売チェーン店と協働の「社会貢献型店頭キャンペーン」を通じて～**

P&G（本社：神戸市）は、毎年小売チェーン店と協働で「社会貢献型店頭キャンペーン」を行い、売上の一部を環境保全活動などに寄付しています。2011年1月～3月までに実施したキャンペーンの結果、合計1,500万円の寄付金が集まり、そのうち1,000万円を、東日本大震災の被災地域における植樹や森林整備などの緑化活動と、避難所や仮設住宅への「組手什（くでじゅう）」* の寄贈に役立てることを決定しました。

緑化活動や組手什の提供は、公益社団法人国土緑化推進機構** を通じて行います。緑化活動は岩手県、宮城県、福島県、茨城県や、大きい余震があった長野県を中心に、現地の要望に応じて行われます。緑化活動のうち植樹については、植樹に適した来年3月以降から始まり、それぞれの地域の植生に合わせてサクラ、ケヤキ、ナラなどが植えられます。また海岸での防風林や学校での植樹など、住環境整備のための活動も行われます。

残りの寄付金500万円は、これまで12年にわたり、公益社団法人国土緑化推進機構を通じて継続的に行ってきた全国各地の植樹や、里山での森林整備等の活動に、引き続き役立てられます。

* 組手什（くでじゅう） <写真下> は、避難所や仮設住宅などの間仕切りや収納棚、勉強机として、誰でも簡単に組み立てられ、繰り返し使用可能な間伐材の組み立てキットです。被災地の要望に合わせて提供する予定です。

** 公益社団法人国土緑化推進機構は、2011年度の「国際森林年」（「持続可能な森林管理・利用」の重要性を啓発する活動）の日本での活動に「緑の募金」を通じて協力しています。

<写真>：組手什（くでじゅう）



環境保全のための「社会貢献型店頭キャンペーン」概要

- 1999年から12年にわたり毎年キャンペーンを行い、環境保全においては特に緑化推進を目的として、小売チェーンと協働で展開しています。店頭でのP&G製品の売上の一部を、公益社団法人国土緑化推進機構に寄付し、植樹や里山の森林整備等に役立てられてきました。
- 1999年から2011年3月までの緑化推進のための寄付合計金額は、1億2,840万9,709円に達し、これは約41万1000本の植樹に相当します。